【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公表番号】特表2003-525983(P2003-525983A)
【公表日】平成15年9月2日(2003.9.2)
【出願番号】特願2001-565774(P2001-565774)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ　2/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　10/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ　2/00　Ｚ
Ｃ０８Ｆ　10/00　５１０

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月1日(2008.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　オレフィンの流動床気相重合に際し作成された２種の異なるポリマー生成物の間の移行の際にシートもしくは凝集体を減少／抑制する方法であって、
ポリマーＡ（密度d_A、メルトインデックスMI_A、焼結温度T_{SA}、温度T_Aの下で作成）とポリマーＢ（密度d_B、メルトインデックスMI_B、焼結温度T_{SB}）との間の移行に際し、移行ポリマーＡＢ（d_{AB}、MI_{AB}）は形成され、ここでd_Bはd_Aより大であり、MI_BはMI_Aと等しいかあるいはMI_Aより小である方法において、
ポリマー粒子をその高温最適操作範囲に移行全体にわたり維持すべく操作温度を制御する以下の工程：
１）シート形成を監視する
２）重合温度を［０．５＊（T_A＋T_{SB}）］に等しくもしくは高くかつ形成ポリマーの焼結温度マイナス２℃よりも低い数値T_{X1}まで上昇させる
３）シートが形成されれば、温度を［０．５＊（T_{X1}＋T_{SB}）］より高くかつ形成ポリマーの焼結温度マイナス２℃よりも低い数値T_{X2}まで上昇させ続ける
４）シートが形成されなければ、実際の重合温度は移行ポリマーＡＢの高温最適操作範囲の部分となる工程からなることを特徴とする、オレフィンの流動床気相重合に際し作成された２種の異なるポリマー生成物の間の移行の際にシートもしくは凝集体を減少／抑制する方法。
【請求項２】　オレフィンの流動床気相重合に際し作成された２種の異なるポリマー生成物の間の移行の際にシートもしくは凝集体を減少／抑制する方法であって、
ポリマーＡ（密度d_A、メルトインデックスMI_A、焼結温度T_{SA}、温度T_Aの下で作成）とポリマーＢ（密度d_B、メルトインデックスMI_B、焼結温度T_{SB}）との間の移行に際し、移行ポリマーＡＢ（d_{AB}、MI_{AB}）は形成され、ここでd_Bはd_Aより小さく、MI_BはMI_Aと等しいかあるいはMI_Aより大である方法において、
ポリマー粒子をその高温最適操作範囲に移行全体にわたり維持すべく操作温度を制御する以下の工程：
１）シート形成を監視する
２）重合温度を［T_{SB}－１．２＊（T_{SA}－T_A）］に等しくもしくは高くかつ形成ポリマーの焼結温度マイナス２℃よりも低い数値T_{Y1}まで低下させる

３）シートが形成されれば、重合温度を［０．５＊（T_{Y1}＋T_{SB}）］に等しくもしくは高くかつ形成ポリマーの焼結温度マイナス２℃よりも低い数値T_{Y2}まで上昇させる
４）シートが形成されなければ、実際の重合温度は移行ポリマーＡＢの高温最適操作範囲の部分となる工程からなることを特徴とする、オレフィンの流動床気相重合に際し作成された２種の異なるポリマー生成物の間の移行の際にシートもしくは凝集体を減少／抑制する方法。

【請求項３】　ポリマーはエチレンおよび／またはプロピレンおよび／またはブテンのコポリマーから選択されるポリオレフィンであることを特徴とする請求項１または２に記載の方法。

【請求項４】　ポリマーはエチレンとブト－１－エンおよび／またはヘキシ－１－エンおよび／または４－メチル－ペンテン－１とのコポリマーであることを特徴とする請求項３記載の方法。